

## 第2回学校運営協議会

国分寺東小学校会議室にて

- 1 日時 令和元年10月16日(水) 13:00~15:00
- 2 参加者 学校運営協議会委員 吉田 聡 日向野紘子 熊谷健治 大垣玉枝  
下山千恵子 諏訪 守  
隅内 宏(本校校長)  
※出口英男委員、諏訪美津枝委員は欠席  
地域学校協働活動推進委員 上野 一成  
事務局 石島 直(本校教頭)、中川恵津子(本校教務主任)

### 3 内容

#### (1) 学校運営協議会

##### ① 協議

ア 令和元年度 学校評価(教育に関するアンケート)の質問項目について  
☆今年度から小中一貫教育が本格的に実施となり、国分寺中学校区として学校評価の質問項目を3校で共通にしたらどうかとのことで、検討してきたが、ご意見をお伺いしたい。

##### 1) 「保護者質問内容について」

- ・質問8「お子さんは(時間のあるときは)、身の回りの整理や掃除を進んでいる。」は、(時間のあるときは)はいらないのではないか。
- ・質問5「お子さんは休日など、(時間のあるときは)、読書をしている。」は、(時間をつくって)という表現にしてはどうか。
- ・最近の子供たちは、放課後や休日にスポーツや習い事を行っていて、忙しい。なかなか時間がとれないないこともある。

→確かに、休日でも忙しい子供たちもいる。(時間のあるときは)の文言を抜くと(いつも)というように捉えてしまう可能性がある。そのようなこともあり、本校の質問項目の5と8にはこれまで(時間のあるときは)という文言が記載されていたのだと思う。

- ・自分の子供は、親が言ってなんとかやるような感じなので、身の回りの整理や手伝いは進んで行っているとはいえない。読書については、上の子は時間をつくって行っているが、下の子は漫画が中心である。

- ・単純に(時間のあるときは)の文言は入れなくてもよいのではないか。入れなくても影響はないと思う。

- ・私も(時間のあるときは)の文言は入れなくてよいと思う。時間のあるなしで限定されるが、質問として通じると思う。

→貴重なご意見をありがとうございました。皆様からの意見をもとに再度検討する。

##### 2) 「教職員質問内容について」

※特に意見なし。

- ・時間も限られているので、今回の質問項目をよく見ていただき、ご意見があれば教頭に連絡をお願いしたい。

#### イ 登下校における児童の安全確保に向けた協力体制について

☆神奈川県川崎市において5月28日に発生した痛ましい事件を受け、6月3日に下野市役所で「登下校時における安全確保緊急対策会議」が開催。本校でも、家庭・地域との連携・協働を強化していく必要性を感じ、保護者には「登下校時における児童の見守りのお願い」を配布、地域の皆様には「災害・事件等発生時における児童避難受け入れ及び見守りのお願い」を回覧して、登下校時の児童の見守りについて、見守りボランティアや登下校の時間帯に合わせた「ながら見守り」へのご協力を、保護者や地域の皆様に呼びかけさせていただいた。

- ・保護者や地域に文書を配布や回覧し、そういった行動をする人は増えたか。

→私も緑のベストを着て、自転車に乗り学区を巡回している。大きく増えたということではないが、犬の散歩をしていたり玄関先で立っていたりする方と話をすることもある。子どもを守る家と呼ばれたところ4件のプレート希望があった。子どもを守る家のプレートは平成17年からかと思う。その後学校としてケアしていなかった。国分寺町のプレートのままで付け替えをお願いするのも難しい。実際、子供に何かあったとき、プレートを見て行動するのは難しい。そこで、下校指導の際、通学路に面した家に協力依頼の文書をポスティングしたこともある。子どもを守る家

のプレートもよいが、ながら見守りの協力をお願いしている。子供の安全確保は永遠の課題であり、地域の課題として学校がどう働きかけをしたらよいか。本校の下校指導は今まで手厚く行ってきたが、マンパワーが厳しくなっている。学習指導要領の改定により時数が増え、下校指導に1時間近く取られるとあっという間に勤務時間終了になってしまう。そこで、9月の学校だよりで本校の下校指導については直近の横断歩道まで（学校の門から出た横断歩道）とし、保護者や地域の方の協力をお願いした。特にこのことについての苦情等は今のところない。地域の団体の中で話題にさせていただき、また、学校でこうしてほしいというものがあればぜひ教えていただきたい。

- ・保護者が下校時に一緒に歩いているのを見かけるが、どんな風になっているのか。
- 学校まで来ていただいている方もいれば、途中で待っていてそこから一緒に下校している方もいる。常に誰かが付き添っているというのは厳しい。
- ・東方台地の集まりなどもあるが、何かの会合などで話していくとよいのではないか。
- 話題にさせていただくことはとてもよいこと、ぜひお願いしたい。
- ・毎日ではなくてもできるときにふらっとと言っているが、なかなか腰を上げない。柴北の老人会は少し動き始めた。老人会自体が減っている。今は柴北のみ。どんな仕掛けがよいかを探っている。
- ・朝、横断歩道に立っていると、横断歩道は歩行者優先なのに、残念ながらなかなか車は止まらない。以前の記事で栃木県は横断歩道を止まらない車のワースト1、0.9%であった。まだまだ止まる率は少ない。下校時はさらに心配な場面がある。警察も関与してくれるとよいのだが。オービスの取り締まりなど何かの力を働かせないと改善しないのでは。
- ・学校の文書が回覧でくるが、どれだけ見てくれているのか。子どもの見守りの協力については、毎回どこかに入れるといいのではないか。
- 学校だよりか地域連携だよりに入れてみる。
- ・現在、毎日見守りの協力をしてくれる人は何人くらいいるのか。
- 12名である。以前は30名くらいの方がいた。子供の卒業と一緒にボランティアも卒業してしまっている。
- ・1年生の保護者は協力的だが、学年が上がるについて親も安心してしまうのか少なくなっていると思う。
- ・今は老人会も解散するところもあり、（高齢者の人数は増えているのに）減っている。
- ・引っ張ってくれる人が減っている。ふれあい老人の運動会、これまでは3地区でそれぞれ行っていたが、今年度は3地区一緒に行くことになった。
- ・今の人たちは、自分の好きなことはやる、それ以外のことは関わりたくないという考えの人が多。自治会の力も弱くなっている。当番制ということもあり新しいことをやろうということがなくなっている。無難に過ごそうという流れである。何かのアプローチを期待しているがなかなか難しい。
- 学校としては、ボランティアを孫が通っているおじいちゃんやおばあちゃんにもお願いしたい。回覧で粘り強くお願いしていく。
- ・自治会の加入率、今は6割くらい。以前はゴミの収集の問題があり自治会に加入していたが、今の集合住宅にはゴミ収集場所があるため入らなくてもよい。今後、何らかの関わりを持つことが大切である。地域の中に入ってこないと生活は厳しい。でも煩わしい。両親がフルタイムで働いている人は、仕事をしていて役割を担えないから育成会に入らないという人もいる。
- ・メッセージを出すことは無駄ではない。ぜひ話題にしてほしい。
- ・学校が一生懸命やり過ぎている。そのため周りの人は学校におんぶにだっこの状態。登下校は親の責任。でも何かあれば学校に苦情を言ってくる。学校を離れれば離れるほど文句が出てくる。
- ・学校だより、公民館にも送付していただいているが、行事や結果の報告はよく分かる。しかし、お知らせ等がよく分からない。お願いやお知らせ、協力を入れてもよいのではないか。

## ② 事務連絡

第3回学校運営協議会 2月26日(水)

- ・6年生を送る会の見学
- ・学校評価の結果、次年度の学校経営構想について協議
- ・給食試食

## (2) 児童表彰式 参列